

新宮山彦ぐるーぶ第1969回

南奥駆道(持経宿↓太古ノ辻)の点検巡視と天狗山迄の笹刈り

◇実施日：2018年04月07日(土)～08日(日)

◇参加者：川島 功、児嶋道夫。生熊敏男(7日：車回送)

8日の笹刈り班；沖崎吉信、濱野兼吉、生熊千満子、
竹中卓治、山口泰宏、梶野照雄、辻 正博、大門健一。

計10名+協力者1名。

持経宿↓太古ノ辻間の点検巡班

4月07日(土) 曇り時々晴。

池郷林道は、5月下旬迄？全面通行止めとのこと。白谷林道は、3日に村吉さんが非常食・救急箱の補給に持経宿に行かれた際、上部の路面は前回(3/11)より荒れているとの情報連絡がある。

5日に行事担当者に確認すると、参加予定者が1名取り止めに
なり川島だけとの事、前鬼からの笹刈り班に合流するしかない。

その後、児嶋さんから参加するとの連絡があるが、白谷林道から持経宿に送ってくれる車と運転手が無い旨を伝えると、点検巡視する必要あるだろうと強い熱意により、児嶋さんの1屯トラック提供と生熊さんに運転手を打診すると、了承のことで実施する事になった。

6日の夜半に低気圧と前線通過後、一時的に冬型気圧配置になり、上空1500mマイナス3℃の寒気団が南下するとの事、南奥駆の山々も一時的に雪時雨が予想され、川島は革靴・ヒートテック長袖シャツ・タイツ、児嶋さんは羽毛上下インナーを着用する。

児嶋さんの運転で(川島・生熊同乗)13時に新宮を発ち、上葛川經由で国道425号線へ。21世紀の森の桜は、葉桜に近いがシヤクナゲが咲き始めている。この低気圧通過前は、初夏の様な日々が続いたので、木々の芽吹きも早くなっている。

14時半に白谷林道ゲートに到着し林道を辿る。低気圧通過に

伴う雨量は少なかった様で落石も少なく、むしろ前回(3/11)より、森林管理事務所の方が手入に走行された気配がある。だが路面は凹凸が多く荒れており、普通乗用車の走行は難儀するだろう。

8km地点を過ぎ、支谷の水が路面に流れて荒れた坂道は、トラックに荷が無いと後輪がスリップする事から少し加速して通過したが、倒木が支障になりチェーンソーで切除。動き出すと空回りする状態になり、児嶋さんパンクかもしれないと止めて確認すると、左前輪がパンクしている。約30分で取替えて持経宿に15時40分に到着した。この間に落石を除けたのは3回位であった。

生熊さん休憩もせずに、馴れないトラックを運転して帰新。持経宿は携帯が繋がらないので、無事帰新を祈るのみである。



通行支障の倒木切除



左前輪パンク



生熊さんトラック回送

持経宿は、風が強く一次的に時雨がある。小屋内には、村吉さんが3日に補給した20Lコック付きポリタンク2個が満杯であり、お陰で水を汲みに行く手間が省けた。

先般、池郷林道を池原へ下山した登山客が、工事箇所は通行不可と言われ、何とか頼み込んで通過したとの情報があり、三叉路に「池郷林道 人・車とも通行不可」の黒・赤マジック描きの標識を急遽設置した。

宿内温度7℃。ストーブを炊くが、吸引が悪い様で煙が宿内に

少し漂う。焚口の延長と隙間詰め及び煙突を掃除する必要がある。
ストーブの上に置いたヤカンの水が沸き、から揚げ弁当・カツ
プ麺と魚肉ソーセージ、筍・鶏肉・油揚げの煮物、わけぎヌタ、お
かきを肴にビールを飲み夕食。二人とも下戸であり、ビール3本
で酔いがまわり、二人の会話ははずまず19時半過ぎに就寝。

18時から雪が降り出し、夜中1頃には白く積もっていた。
児嶋さん焚口に寝る場所を変えて、一晚中薪を補充して下さる。



「通行不可」標識設置

到着時の持経宿

朝・うつつら積雪

行動タイム

新宮13:00→14:30白谷林道ゲート→15:00約8.5kmパンク15:30→
15:40持経宿。夕食17:30、就寝19:30。

4月08日(日)

晴後曇り一時吹雪後曇り時々晴

5時前に起きると、屋外ベンチ上に約1cm積雪し、周りは真っ
白になっている。児嶋さんの薪の補充により、宿内温度は16℃
あり寒くなかった。軒下玄関・室外温度は約4℃。

おにぎりと残り物の煮物・味噌汁、フランスパンとコーヒーを
分け合い、朝食を済ませて身支度を整える。

朝方には星空が見え、朝焼けの日の出も見られ、風が強いが天
候が回復しそうである。

持経宿を6時前に出発。風が強く、奥駆道はうつつら積雪して
いるので滑らない様に歩を進める。歩き出しの阿須迦利岳の急登
はこたえる。阿須迦利岳山頂(1,251m)に到着するが、雪で座るこ
とも出来ず、立ち止まると寒いので直ぐに歩き出す。



持経宿出発!

朝陽の奥駆道を登る

阿須迦利岳山頂

急な下りは、一層滑らない様に岩や木の根に気を使いながら慎
重に下って行く。急なピークを登り終え、下りの鎖を点検しなが
ら下り、狭い露岩の尾根を辿ると急斜面の登りの鎖場である。

鎖の支点は桧生木で、成長で鎖が喰い込み解消した支点であり、
問題なく確りしている。この辺りは、以前は篠竹が茂り足元が見
づらい危険箇所であったが、篠竹が枯れて足場が見やすくなり、
通り易くなっている。又、この辺りの地形図では、尾根に鎖場が
あるとは読めない箇所である。積雪も少し増え、靴底に付着して
歩きにくい。児嶋さんは、所要所にピンクテープの目印を付け
ながら歩いて下さる。

7時に奥八人山の分岐・摩23・証誠無漏岳(1,301m)に到着。
ここは、乾光門(けんこうもん)とも言われている。

一層風が強く感じ、気温は低くないが体感温度は非常に寒い。
北の釈迦ヶ岳の方角は、薄黒い曇天模様であり、雪時雨の様な気
象状況であり、西の方角に晴れ間が見えなくなる。



桧生木支点の鎖場



真つ白に積雪の尾根



摩23・証誠無漏岳

証誠無漏岳を過ぎて程なく、奥駈道を塞ぐ雑木倒木が在り、素手でチェンソーを使い切除したが、軍手を嵌めたが手が冷たくてポケットに手を入れて、体温で温めながらしばらく歩く。涅槃岳手前のヒメシヤラ尾根を辿ると程なく、摩24・涅槃岳(1,376.2m)の山頂である。



チェンソーで倒木切除



ヒメシヤラ尾根



摩24・涅槃岳

涅槃岳から5分程下ると倒木が在り切除する。涅槃岳の広く急な尾根を下るが、積雪で何処もが道の様になり、少し凹んだ所を右寄りに下り、左の崩壊斜面横を通り平坦な尾根に出ると剣光門

(ヒクタワ・ヒクタワ)に到着。この辺りはバイケイソウの群落地であるが、例年より早く芽が出ているが、思わぬ雪に耐えている様に思う。ヒクタワのピークを越え、しばらくして滝川辻に到着。傾いた石柱道標に石をかましてハンマーで叩き固定し修正する。



涅槃岳後の倒木切除



剣光門(ヒクタワ)



滝川辻道標傾き修正

やがて摩25・般若岳(1,328m)を越え、なだらかな尾根を辿ると、狭い尾根上に倒木がありチェンソーで切除すると、直ぐに倒木が在る。更に枯れたやや大きい倒木を手で除け、その重みで折れた小灌木をチェンソーで切除仕掛けると、どうした訳かチェン刃が外れ、手鋸で処理する。



狭い尾根の倒木切除前・後



歩行支障の倒木

児嶋さんは、先行し尾根下の道らしい所を辿っているが、尾根上が奥駆道なので、尾根へ登る様に声をかける。

摩26・地蔵岳(子守岳・1,464m)に9時55分に到着。魔法瓶の味噌汁と手作りのチョコレートフランスパンで小休止。この間に、チェンソーのチェン刃を嵌め込み、燃料・オイルを補充する。休んでいる間に、風が弱いが見界が急に悪くなり吹雪になり、川島は雨具上着を着用する。

地蔵岳を出発すると広い尾根に針葉樹の生倒木が在り、枝を切除し、倒木を跨いで通れるようにする。天狗の稽古場に着くと視界は一層悪くなり本格的な吹雪になる。

此处を過ぎて嫁越峠に下る尾根道は、ミヤコザサ上に積雪して、膝下ズボンと靴に着雪し、時々手で払い除ける。繁茂したミヤコザサで足元が見難いので、ゆっくり下り嫁越峠(1,325m)に10時40分に到着。ここで川島は、雨具ズボンを着用する。



摩26・地蔵岳(子守岳)



天狗の稽古場



嫁越峠道標

奥守岳へと登り出すと、次第に吹雪が止み空も明るくなる。奥守岳の石柱道標は、児嶋さん少し手直しして下さる。摩27・奥守岳(1,485m)に到着すると、辿ってきた以南の奥駆道が望める様に天候が回復する。此处で、お湯でコーンスープと菓子パンの軽い昼食にする。



奥守岳石柱道標手直し



摩27・奥守岳



奥守岳以南の駆道を望む

天狗山手前の左崩壊斜面横の奥駆道を辿り天狗山(1,537.2m)に12時前に到着し、石柱道標の傾きを直して石を咬ます。

天狗山から小さなピークを二つ越えて下ると、笹刈り班と12時10分頃に合流する。これから昼食との事、一緒に休んでいると児嶋さん持参のお湯でコーヒを振舞って下さる。



天狗山三角点にタッチ



石柱道標の傾き修正



笹刈り班と合流・昼食

目の前のピーク斜面にもミヤコザサが、少し繁茂していたと伝える。昼食後に荷を置いてヘッジトリマーで刈って来ると天狗山へと笹刈作業へ。我々2名は、太古ノ辻で待機する事にして先行。

笹刈りの終えた奥駈道は、本当に歩き易くなっている。
石楠花岳の捲き道に根が膝高さに在り、児嶋さんが手鋸で切除して下さる。

摩32・蘇莫岳仙人舞台石で小休止。川島は、蘇莫岳(1,521m)山頂にある「大峯前鬼坊大天狗」と彫られ三角石を拝みに行く。



笹刈り終えた奥駈道

膝高きの根を手鋸で切除

摩32・仙人舞台石

太古ノ辻に13時40分に到着し、合羽ズホンを着脱し笹刈り班を待機する。笹刈り班が14時15分頃から戻って来て、本日参加者の記念撮影をして、14時半に前鬼小仲坊へと下山する。



太古ノ辻に先着

笹刈り班・太古ノ辻に戻る

本日の参加者

二つ岩手前のブナ腐木は、根元上部を高捲く必要があり、跨いで通れるようにチェンソーでステップ足場になるように切除した。



大ブナ腐木を跨いで通れる様にチェンソーで足場ステップ作り



二つ岩で小休止

満開ツツジ下を通る

小仲坊行者堂で勤行

二つ岩(両童子岩)で小休止後、前鬼山・小仲坊に16時半前に到着し、行者堂前で無事下山の勤行をする。

小仲坊・五鬼助さんのご好意によりコーヒー接待をして頂き、又、小仲坊迄車の乗り入れの便宜をして頂き御礼を申し上げます。最後に、児嶋さんの熱意と生熊さんの車回送協力並びに悪天候の中、天狗山迄の笹刈り作業をして迎えに登って下さった方々の

お陰で、会行事としてチェンソー持参しての持経宿↓太古ノ辻間の点検巡視・整備作業が、昨年実施されておらず、本年実施することが出来たので、皆さんの御協力有難うございます。

尚、五月連休迄の大峯奥駈道は、冬型気圧配置になると、一変して降雪になる事を再認識して頂きたいと思えます。

大日岳・大日如来座像の修復については、小仲坊・五鬼助さんは「降ろせば大谷鑄造所が修復して下さるそうであるが大事であり、水平なコンクリート等の台座を造り、台座と坐像の固定は、新規ピンで固定し、現状の損傷した状態で安置する」との意向であり、出来れば今夏迄に台座作製の為、砂・砂利・セメントの荷上げ(歩荷)のご協力をお願いする事になりますので、その際は是非皆さんご支援の程お願い致します。

行動タイム

起床5:00→持経宿5:55→6:25須迦利岳→6:45鎖場→7:00証誠無漏岳→7:40涅槃岳→8:05剣光門(ノクタワ)8:10→8:45滝川辻8:50→9:55地藏岳(十ヶ岳)10:05→10:25天狗の稽古場→10:40嫁越峠
10:45→11:15奥守岳11:25→11:50天狗山11:55→12:10合流(昼食)
12:35→13:15仙人舞台石→13:22蘇莫岳→仙人舞台石13:30→
13:40太古ノ辻14:25→14:50倒木処理15:10→15:251ノ峠15:30→
16:25小仲坊16:50→前鬼林道ゲート解散。

(記:川島、写真:川島・梶野)

天狗山迄の笹刈り班

・沖崎、濱野、生熊千、竹中、山口、梶野、辻、大門。8名。

新宮を6時15分に沖崎車に生熊・濱野が乗り合わせ出発。

今朝は寒気団が南下しているせいかよく冷え込み、国道311号線の九重を過ぎた所で道路標識には4度の表示。生熊さんによると那智勝浦・新宮間の自動車道路も5度であったとのこと。

下北山村の池原公園の桜祭りは、今日であるが主役のソメイヨシノは葉桜で、ボタン桜が咲き誇っている。が数はいかんともしがたく少ない。自然は人間の思い通りには動かない。しかしこういうこともありなのだろう。

国道169号から分かれて前鬼林道へ、先行する白い軽自動車は竹中さんと、道路を塞ぐ大きな落石があり沖崎、竹中、濱野の三人で道路の横に移動させる。ゲート前には山口、辻、大門、梶野さんと合流し、山口、竹中さんは、ゲート前駐車場に車を置いてほかの車乗り合わせ前鬼向かう。途中道路の上の崖にミツバツツジと並んで咲いている黄緑のヒカゲノさつき花を見つけ、今日来た成果があったと喜ぶ。

前鬼にはミツマタの花が咲き誇って車窓から見ると花の絨毯を敷いたようである。車を駐車場に置いて沖崎さんはお供えを持って五鬼助さん宅に向かうと、宿坊の石垣の下の通路から、五鬼助さんが見えられて、これも今朝は雪化粧していたが、日が差して消えてしまったとのこと。五鬼助さんご夫妻は、スペインのサンデイエゴの巡礼道を歩きに行かれ、しばらく留守をしていたと報告を受ける。

沖崎さんから今日の行動予定は、天狗山(1537m)まで行き、携帯電動バリカン(ヘッジトリマー)で奥駈道の笹を刈り取り、持経宿から点検巡視の川島・児嶋組と合流して、午後4時には前鬼に戻る。との指示を受ける。それぞれ電動バリカンとバッテリー、剪定バサミ、鎌を持って出発。



前鬼小仲坊に集結



御当主夫妻・見送り



小仲坊出発！

登り始めると雪がチラチラ舞う。上に行くにしたがって雪は激しくなってくる。大門さんは行者地下足袋という出で立ち。辻さんはゴミを拾いながら行くので遅くなっても心配しないで欲しいと言われる。途中には3月に吹いた強風の影響か大きな木が折れたり、根元から倒れたりしている。



出発後約3分の道標



通行支障の枝切除



二つ岩への登り

二ツ岩までは順調に進む。今まで知らなかったが、ここに役行者の腰掛岩があり腰を掛けてみた。なるほど腰を掛けるには調度いい高さである。行者さんの中には、此処に座らないとのこと。



うっすら積雪した「二つ岩」で小休止



積雪の木製階段登る



ブナの腐倒木を過ぎて、崩落があり木段が壊れている所で壊れた状況を写真に撮っていると皆さんと遅れてしまい、道を間違え谷に入り込んでしまい、私の後ろを歩いていた生熊さんも巻き込んでしまう。谷を渡って前鬼道に戻ろうとするが、トラバースするには不安定で滑落の危険もある。心配した沖崎さんが待機してくれており、居場所を教えてくれる。無理をせず谷を上り詰めて、安全な場所を見つけ前鬼道に戻ることに決めた。生熊さんには危険な思いをさせ、先行の皆さんにはいらぬ心配をかけてしまった。足元ばかりみて視線を上げ周りを見る余裕を失くし、道を間違えて谷に迷い込み、無駄な時間を費やして皆さんに迷惑をかけてしまった。

強風と雪を避け太古の辻の手前で休憩。山口さんによれば2時間ちよつとでここまで上ってきたとのこと。大日岳は雪化粧し樹氷も見られる。我々より先行していた若い二人組は、吹雪かれて

深仙宿より引き返してきたとのこと。沖崎さんによると千手岳に登る予定だったらしい、



太古ノ辻手前を登る



太古ノ辻



奥駈道の笹刈り(昼前)

沖崎さんは、太古の辻から持経組と合流できる所まで行くとの事を出発。尾根を吹き抜ける風は冷たくむしろ痛い、吹雪いて止みそうにもない。仙人舞台石を過ぎて、石楠花岳の山裾下を捲き、風を遮る小高い丘になった場所で昼食。すると川島・児嶋組がやって来る。食後カフェ児嶋が開店お菓子やパンの差し入れがあつてくつろぐ。

川島・児嶋組は太古ノ辻を目指し出発。私達は天狗山迄の茂った笹を刈るために、梶野・竹中さんは電動バリカン、後の人は各自持参の剪定バサミや鎌、バリカンバッテリーを持って後に続く。電動バリカンで刈り取った笹は、山口さんが熊手と鎌で上手くすくい上げ処理して行く。

程なく、本日の目的地・天狗山山頂(1537m)に到着。ここは南奥道最高峰の1537.2m、三等三角点である。



天狗山山頂手前の奥駈道の笹刈り作業状況



天狗山に到着!



釈迦ヶ岳を望む



笹刈り後の奥駈道

雪も止んで日も差して少し暖かくなってくる。大門さんの行者地下足袋は濡れて冷たく、大変だろうと想像しながら続くが、弱音を吐けないところが行者の心意気なのだろう。大丈夫らしく皆さんと一緒に太古の辻まで引き返す。全員合流し、記念写真を撮

り前鬼に下る。

私は何処で道を間違えたか場所を確認するため、注意して下る。木段過ぎて鎖場で左に折れないといけない所を直進してしまったようである。

ブナの大倒木が道を塞ぎチェーンソーで処理するが、如何とも樹が大きすぎて随分と手間取る。段差足場を付け何とか越えて通れるようになり、生熊さん渡り初めをして完成。

二ツ岩で休憩して前鬼に下る。木段には雪が残って、濡れて滑りそうなので慎重に下る。

前鬼に降りると五鬼助さんの奥さんがコーヒーを用意して下さり、導師は大門・生熊・沖崎さん3名で勤行の後、差し入れのお菓子なども出てくつろいだ。

予定よりは時間がかかったが取りあえず持経宿へ前鬼間の点検・整備の踏査は終了。吹雪に見舞われ大変であったが無事に行事が終えられたことは、大きな成果であった。

最後に、川島代表より来週の行仙宿へ持経宿の踏査も池郷林道が通れないので、途中から池峰へのルートで実施するので協力要請の提案があり了承し終了した。

行動タイム

前鬼林道ゲート7:50→8:00前鬼・小仲坊8:15→8:50石柱道標・小
休止→9:30 | 〇石9:40→10:50太古ノ辻11:10→11:25仙人舞台石
↓12:10昼食12:30→13:05天狗山13:13→14:10仙人舞台石→14:15
太古ノ辻14:25→14:50倒木処理15:10→15:25 | 〇石15:30→16:25
小仲坊。

(記：濱野、写真：梶野)